

英、ワクチンきょう接種開始

病院に到着、準備本格化

【ロンドン共同】米製薬大手ファイザーが開発した新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種が8日から英国で始まる。各地ではワクチンが届き始め、医療関係者らが、先行的に接種を受ける対象者や手順などの確認作業を行った。

者、高齢者介護施設の入居者や職員らを優先し、その後医療従事者らに拡大する見通し。

エリザベス女王(94)夫妻も対象になるとみられ、一部英メディアは数週間以内に接種を受ける可能性がある」と報道。英紙によると王室関係者は、接種するかどうかは女王らの「個人的な決断」になると話している。

女王は1957年、国内でポリオワクチンの副作用への不安が広がる中、長男チャールズ皇太子(当時8)と長女アン女王(当時



ロンドン南部の病院で米製薬大手ファイザーのワクチンを受け取る職員(5日)
(ゲッティ共同)

(6)に予防接種を受けさせたと公表、国民の懸念が一掃され接種促進につながった経緯がある。今回接種した場合、事後公表するとの見方が強い。

ファイザー製ワクチンは零下70度以下で保管する必要がある、冷蔵庫での一時保管は最長5日まで。このため、まずは設備の整った病院を拠点に接種を行う予定。英メディアによると、

ロンドン南部の一部病院には6日までに、ワクチンが届けられた。対象となる他の病院にも7日中に届くという。

政府は同社に4千万回分(2千万人分)を注文。英医療当局幹部は6日、英テレビに出演、年内に最大で計400万回分が届く見通しだと話した。

2020年12月8日(火) 神戸新聞分

未知なる相手に、人類の新しい歴史が大きく動き出す。

や、つづけるのか、共存していくのか。

つねに成功で歩めるほど簡単を聞いてはいない。ただ、自分が果たせる責任は絶対に守る中で、新たな日常をどう構築できるか？ 皆で取り組もう。